

令和6年度熱田区区政運営方針の取組結果

1 全体の状況

令和6年度熱田区区政運営方針では、「住みたくなるまち 訪れたいまち あったか熱田」をめざして全42項目の取り組みを掲げました。これらの取組項目の達成度は下表のとおりです。

将来像 \ 達成度	☆☆☆☆ (100%以上)	☆☆☆ (80%以上 100%未満)	☆☆ (50%以上 80%未満)	☆ (50%未満)
安心・安全で快適に暮らせるまち	13	0	0	0
人が支え合い、自分らしく暮らせるまち	14	3	0	0
生きがいや活力を感じ、魅力あふれるまち	6	2	0	0
住民に身近で質の高い行政サービスの提供	4	0	0	0
計	37	5	0	0

「達成度」の評価は、以下の基準による事業担当課の自己評価を踏まえ、区長以下区役所全体で内部評価を行い決定しました。

- ☆☆☆☆：特に順調に進捗した（目標値に対する実績が100%以上）
- ☆☆☆：順調に進捗した（目標値に対する実績が80%以上100%未満）
- ☆☆：やや遅れが見受けられた（目標値に対する実績が50%以上80%未満）
- ☆：遅れが見受けられた（目標値に対する実績が50%未満）

※実施の有無が指標になっている場合は、実施したか否かで確認

- ☆☆☆☆：実施
- ☆：不実施

今回、☆☆や☆と評価した項目はありませんでしたが、☆☆☆☆や☆☆☆と評価した項目についても、区民の皆さまにご満足いただけるよう、継続的に取り組んでいくことが必要であると考えています。

2 各項目の取組結果

将来像 1 安心・安全で快適に暮らせるまち

取組項目	取組 1 防犯対策	継続
取組内容	①犯罪被害を防ぐため、地域の皆さまや警察、郵便局などと協働してキャンペーン等の啓発活動、並びに青色回転灯装備車等によるパトロールを実施します。 ②広報なごや、行政情報モニター、区公式 X など各種媒体を活用して広報啓発を行います。 ③高齢者を狙った特殊詐欺被害防止について、被害者となりうる高齢者や子や孫などの見守り世代へ啓発します。また、若者に対して闇バイトに関する啓発を行います。	地域力推進課 警察署生活安全課 福祉課
具体的な目標値	高齢者を狙った特殊詐欺被害防止の啓発活動 7 回以上	
目標に対する実績	啓発活動 7 回	
取組結果	①②年 4 回の生活安全市民運動期間における重点事項を中心に、区内の犯罪状況等に応じて、特殊詐欺防止や自転車盗難防止などのキャンペーン及び啓発を実施しました。 ・地域等との協働によるキャンペーンの実施 8 回 ・青色回転灯装備車によるパトロールの実施 23 回 ・広報なごや区版に掲載 6 回（5・7・10・11・12・3 月号） ・行政情報モニターに掲載 5 回（市民生活安全運動期間等） ・区内で発生した事件や防犯情報を公式 X に投稿 20 回 ・区役所内にて啓発物品の窓口配架、のぼり旗掲出 ・「仕掛学」を活用した自転車盗難防止対策を警察と協働で実施 1 回 ③高齢者の方に、特に多い固定電話による被害の状況を中心に説明し、被害防止の啓発を実施しました。 ・給食会などの機会を捉え、留守番電話の活用など、特殊詐欺の被害防止に向けた啓発を実施 7 回 ・ケアマネジャー研修で特殊詐欺防止についての講話 1 回 ・65 歳以上の高齢者がいる世帯に対し、抽選で自動通話録音機を無償で貸与 11 件 ・区内での高額の特許詐欺被害発生時には、庁内及び X や LINE による緊急の啓発を実施 2 回 ・学生に対して闇バイト防止に向けた啓発を実施 1 回	
取組全体の達成度	☆☆☆☆	

取組項目	取組 2 交通安全対策	継続
取組内容	①地域の皆さまや警察などと協働し、交通安全啓発活動を実施します。 ②区内小学校児童などへ基本的な交通ルールをわかりやすく伝える「交通安全教室」などを実施します。 ③高齢者の方々へ交通安全の啓発を行います。 ④自転車安全利用の啓発を行います。 ⑤自転車等放置禁止区域で放置自転車の撤去を実施します。	地域力推進課 警察署交通課 福祉課 土木事務所
具体的な目標値	地域の皆さまや警察などと協働し、交通安全啓発活動の実施 25 回以上	
目標に対する実績	地域の皆さまや警察などと協働し、交通安全啓発活動の実施 29 回	
取組結果	①年 4 回の交通安全市民運動期間における重点事項を中心に、区内の交通事故状況等に応じて、交通死亡事故被害防止のキャンペーン及び自転車用ヘルメット啓発などを実施しました。 ・キャンペーン等の実施回数の合計 29 回 (内訳) ・交通安全県内一斉大監視 4 回 ・毎月、交通死亡事故ゼロの日の街頭活動 25 回 ・区内での交通死亡事故発生時には、街頭活動及び庁内での注意喚起、X や LINE による緊急の啓発を実施 1 回 ②小学校の新入生へ交通ルールの分かりやすい説明や通学路の歩行訓練、高学年へ自転車安全利用の講話や実技講習などを警察や交通指導員により実施しました。 ・児童・生徒対象の交通安全教室 15 回 ・高蔵幼児園園児の協力により「ちびっこ警察官の交通安全キャンペーン」を実施 ・大宝小学校学童の協力により啓発用ポスターや音声データを作成 ③高齢者を対象として、反射材の着用などの歩行者安全確保や自転車安全利用に関する啓発を警察と連携して実施しました。 ・給食会等で高齢者への啓発 7 回 ・高齢者福祉相談員訪問活動の際、交通事故防止のチラシを配付 ④⑤・放置自転車追放月間(5 月・11 月)に、地域や大学と連携して自転車マナーキャンペーンを実施 8 回 ・熱田高校において自転車の乗車マナーに関する交通安全教室を実施 1 回	
取組全体の達成度	☆☆☆☆	

取組項目	取組 3 戸別訪問による防災啓発	継続
取組内容	消防職員などが今年度の戸別訪問実施学区内全世帯を訪問し、家庭における防災対策の実施状況を聴取し、各家庭の状況に応じた防災啓発を行います。	消防署 総務課
具体的な目標値	高蔵学区、千年学区の2学区を対象に戸別訪問の実施	
目標に対する実績	高蔵学区内約 5,100 世帯、千年学区内約 2,900 世帯を対象に戸別訪問の実施	
取組結果	消防職員が、高蔵学区内約 5,100 世帯、千年学区内約 2,900 世帯を対象に戸別訪問、家庭における防災対策の実施状況を聴取し、各家庭の状況に応じた防災啓発を実施しました。	
取組全体の達成度	☆☆☆☆	

取組項目	取組 4 家具転倒防止ボランティアの養成及び派遣	継続
取組内容	南海トラフ地震などによる地震被害を軽減するため、自ら家具を固定できない方に対し、家具転倒防止ボランティアを派遣して家庭内の家具などを固定することで自助力の向上を図ります。	消防署 総務課
具体的な目標値	家具転倒防止ボランティア派遣世帯数 30 世帯以上 家具転倒防止ボランティア派遣支援を受けられた方の満足度 100%	
目標に対する実績	家具転倒防止ボランティア派遣世帯数 65 世帯 家具転倒防止ボランティア派遣支援を受けられた方の満足度 100%	
取組結果	・家具転倒防止の啓発及びボランティア派遣希望世帯の募集広報を実施（熱田区区民まつり等のイベント、出張！家庭の防災教室、戸別訪問、広報なごや、学区だより、回覧板でのパンフレット配布、社会福祉協議会の会議出席、福祉課の老人クラブの会議出席、各学区の老人会・おひさまクラブ・給食会への出席など） ・消防局が主催する家具転倒防止技術研修会へ参加しました。 ・他区で実施される家具転倒防止ボランティア派遣事業へ、熱田区の家具転倒防止ボランティアを参加させ、知識技術の向上を図りました。 ・新たに、2名の家具転倒防止ボランティアが加わりました。	
取組全体の達成度	☆☆☆☆	

取組項目	取組 5 風水害・地震災害に備えた防災訓練の実施	継続
取組内容	南海トラフ地震などの災害に備え、区内の各指定避難所における防災倉庫の設置場所や備蓄品の確認など避難所機能の理解促進に向けた実践的な訓練を実施します。 家庭における食料や災害用トイレの備蓄の重要性を伝える機会を積極的に設けるなど区全体の防災意識が高まることを目指します。 また、発災時に障害者の方などの要配慮者に適切な避難スペースの割り当てや、声掛けなどが行われるよう身体障害者福祉協会などの協力による要配慮者支援講習も併せて実施します。 総合水防訓練・・・5月26日（日）会場：高蔵小学校 総合防災訓練・・・9月1日（日）会場：宮中学校 指定避難所開設運営訓練・・・秋以降に実施 会場：旗屋小学校	総務課 その他防災関係機関
具体的な目標値	防災アンケートにおける食料や災害用トイレの備蓄を増やすと回答する方の割合 90%以上	
目標に対する実績	訓練参加者向けアンケートを実施し、「増やそうと思った」「少しは増やそうと思った」と回答した割合 100%	
取組結果	総合水防訓練については、①区本部及び各区隊、熱田警察署の連携訓練として区連絡会議の開催などを、②災害救助地区本部委員向け訓練として、デジタル移動無線や防災倉庫の確認、無線LAN接続訓練などを、③住民参加型訓練として地下式給水栓操作訓練や発災時における要配慮者への対応について当事者から講話を聞くなどのブース訓練を実施しました。 総合防災訓練については、台風の影響により中止となりましたが、①災害救助地区本部委員向け訓練として、災害救助地区本部の役割についての講話や、②住民参加型訓練として初期消火訓練や救出・救護訓練、宮中学校の避難所機能の確認などを実施する予定でした。 避難所開設運営訓練については、①発災時における災害救助地区本部の役割や重要性についての講習②指定避難所の備蓄物資や資機材の紹介及び防災倉庫の確認③簡易パック式トイレの使用の実演講習を実施しました。	
取組全体の達成度	☆☆☆☆	

取組項目	取組 6 自主防災組織の育成支援	継続
取組内容	阪神・淡路大震災の際に救助された方の約8割が隣近所の住民により救助されていたことに考慮して、大規模地震発生初期に隣近所で助け合えるよう、救助が必要な人を早期に把握することを目的として、より小さい単位である町内会を単位とした安否確認訓練を含む自主防災訓練の実施を推進します。	消防署 総務課
具体的な目標値	自主防災訓練を実施する町内会数 30 町内会以上	
目標に対する実績	自主防災訓練を実施した町内会数 35 町内会	
取組結果	各町内会長を回り、各町内会の実状を踏まえた訓練方法を提示し、実践することで共助の態勢が強化されました。	
取組全体の達成度	☆☆☆☆	

取組項目	取組 7 大規模災害時における地域と事業所との支援協力	継続
取組内容	大規模災害時における地域と事業所との支援協力に関する覚書の締結を支援します。 また、既存の覚書の実効性を高めるため、地域と協力事業所との訓練などを支援します。	消防署
具体的な目標値	地域防災協力事業所と連携した自主防災訓練の実施に向けた町内会への働きかけ 30 町内会以上	
目標に対する実績	地域防災協力事業所と連携した自主防災訓練の実施に向けた町内会への働きかけを行った数 35 町内会	
取組結果	各町内会が自主防災訓練を計画された際に、地域防災協力事業所との連携について働きかけを行いました。	
取組全体の達成度	☆☆☆☆	

取組項目	取組 8 災害救助地区本部等の運営力向上	継続
取組内容	発災時は、学区内の被害状況や指定避難所の状況について、各小学校に設置される「災害救助地区本部」が情報を収集し、区役所に設置される「区災害対策本部」にその情報を伝達することで、円滑な災害対応につなげる仕組みとなっています。 令和6年度は、南海トラフ地震が起きた時に、災害救助地区本部はどのように動くのか、また町内会などの単位で結成される「自主防災組織」と災害救助地区本部はどのように連携していくのかについて、災害救助地区本部長（各学区区政協力委員長）と協議を深めます。	総務課
具体的な目標値	災害救助地区本部の運営力向上のための話し合い及び訓練への参加 10 回以上	
目標に対する実績	災害救助地区本部の運営力向上のための話し合い及び訓練を 10 回実施	
取組結果	発災時に各学区における防災活動の中心となる災害救助地区本部委員は、区政協力委員をはじめとする地域の方で構成されていることから、自主防災組織での活動、災害救助地区本部への従事、避難所への対応など多くの業務が同時並行的に発生することが想定されます。また、その対応内容は、災害の種別や地域特性によって異なってくることから、一律に決められるものではなく、きめ細やかな方針の策定が求められます。そのため、方針策定の下地として、災害救助地区本部長である各学区区政協力委員長と話し合いを重ね、学区ごとの災害対応力向上に努めました。 また、各学区の委員長などが参加した各種関係機関との防災に関する意見交換会を実施し、さらには、主に新たに地域の防災リーダーとなった方へ発災時における各種組織体制の関係性や熱田区の災害リスク等について講義を行ったのち質疑応答を含めた意見交換を実施しました。	
取組全体の達成度	☆☆☆☆	

取組項目	取組 9 職員の災害対応力の向上	継続
取組内容	発災時に迅速な対応ができるように、職員に対する防災研修・訓練を実施します。なお、訓練については、座学だけでなく実際の指定避難所で防災倉庫の確認や資機材の使用方法などを学ぶ機会を取り入れます。 ①新規職員、異動職員を対象とした防災研修を実施します。 ②指定避難所派遣職員（新規職員、異動職員及び市税事務所職員等）向けの訓練を実施します。 ③全職員向けに熱田区災害対応マニュアルに関する研修を実施します。 ④全職員向けに職員向け安否確認システムを用いた配備・動員訓練を実施します。 ⑤南海トラフ地震への対応力向上を目的とした区本部災害対策図上訓練を実施します。	総務課
具体的な目標値	職員に対する防災研修・訓練を 5 回実施	
目標に対する実績	職員に対する防災研修・訓練を 5 回実施	
取組結果	①新規職員、異動職員及び非常配備時に参集する市税事務所職員を対象とした災害対応研修を 4 月 24 日及び 5 月 14 日にそれぞれ実施しました。 ②指定避難所等派遣職員（新規職員、異動職員、市税事務所職員及び指定動員者）向けの研修を 9 月 25 日、26 日に実施しました。 ③区役所全職員に熱田区災害対応マニュアルを配付し、各職場において職場内研修を実施するなど、発災時の対応について職員の理解促進に努めました。 ④区役所全職員に職員向け安否確認システムを用いた配備・動員訓練を実施し、各課の回答状況等の結果について、情報共有する機会を設けました。 ⑤区役所職員及び各区隊をはじめとした関係機関が参加した災害対策区本部運営訓練を 1 月 29 日に実施しました。	
取組全体の達成度	☆☆☆☆	

取組項目	取組 10 災害ボランティア団体との連携強化	継続
取組内容	防災・減災の啓発活動に日頃から取り組んでいる災害ボランティア団体と連携して、総合防災訓練など大規模な訓練を実施します。	総務課 社会福祉協議会
具体的な目標値	災害ボランティア団体とともに各種訓練を実施 2 回以上	
目標に対する実績	災害ボランティア団体とともに各種訓練を 2 回以上実施	
取組結果	・総合水防訓練や地域の防災訓練、区民まつり等へあつた災害ボランティアネットワークに参加いただき、参加住民向けに非常持出袋や災害用トイレの準備の必要性などを啓発しました。 (中止となった総合防災訓練にもあつた災害ボランティアネットワークが参加予定) ・国際会議場休場期間中の災害ボランティアセンター設置予定場所である名古屋市教育センターにおいて、現地確認を兼ねた災害ボランティアセンター設置訓練を実施しました。	
取組全体の達成度	☆☆☆☆	

取組項目	取組 11 町を美しくする運動	継続
取組内容	①地域の皆さまや大学・事業者との連携により清掃活動を実施します。 ②空地の適切な管理に向けて、地域の皆さまからの相談を受け、所有者に対し啓発や指導を行います。	地域力推進課
具体的な目標値	地域の皆様や大学・事業者との連携により清掃活動の実施 空地の所有者に適切な管理について啓発や指導の実施	
目標に対する実績	地域の皆様や大学・事業者との連携により清掃活動の実施 23 回 空地の所有者に適切な管理について啓発や指導の実施	
取組結果	①町を美しくする運動の実践活動を中心に地域住民などと一体となって清掃活動を実施しました。 実施回数の合計 23 回 (内訳)・全市一斉クリーンキャンペーンとして 5～6 月に全学区において清掃活動を実施 7 回 ・地域の方々や名古屋学院大学との連携により清掃活動実施 8 回 ・「あつた堀川一斉清掃」を実施 1 回 ・12 月大宝学区にてクリーンキャンペーンを実施 1 回 ・環境局との協働によるプロギングイベントを実施 1 回 ・環境保全の日（毎月 8 日）に、区役所周辺の清掃を実施 5 回 ②・空地をきれいにする運動を中心に、学区の協力のもと雑草・ごみ等で汚れた空地の実態調査を行い、所有者・管理者に対してこの運動への理解を求め、適正管理を依頼しました。 ・空地の不適切な管理について、対象となる空地の調査及び所有者あて適切な管理を依頼する文書を送付しました。	
取組全体の達成度	☆☆☆☆	

取組項目	取組 12 空家及びいわゆる「ごみ屋敷」対策	継続
取組内容	①空家の適切な管理に向けて、区民の皆さまからの相談を受け、所有者に対し依頼や指導を行うとともに、情報提供など必要な支援を行います。 ②空家やいわゆる「ごみ屋敷」について、関係機関と連携しながら解決を目指します。	地域力推進課 その他関係機関 地域力推進課 民生子ども課 福祉課 保健予防課 その他関係機関
具体的な目標値	空家の所有者に適切な管理について啓発や指導の実施	
目標に対する実績	空家の所有者に適切な管理について啓発や指導の実施	
取組結果	①・地域住民からの相談や土木事務所など関係公所からの通報を受け、適切に管理されていない空家の所有者等の調査を実施しました。 ・適切に管理されていない空家の所有者に対して、電話や文書により適切な管理を依頼しました。 ②・熱田区空家等対策PT会議を開催 5回 ・熱田区空家等対策会議を開催 1回	
取組全体の達成度	☆☆☆☆	

取組項目	取組 13 ペットの適切な飼い方と災害時対応の普及啓発	継続
取組内容	①地域の皆さまと協働しながら、飼い主に対して適切な飼い方を啓発します。 ②関係機関と協力し、ペットとの同行避難訓練、ペットの災害対策啓発活動を行います。 ③なかよしペット事業（ペットの適切な飼い方、身元表示に関する啓発）を実施します。 ④狂犬病予防集合注射会場で、市獣医師会とともに犬の飼い方やしつけの仕方などを啓発します。	健康安全課
具体的な目標値	地域における巡回指導・キャンペーンの実施 10 回以上 ペットの災害対策啓発活動の実施 2 回	
目標に対する実績	地域における巡回指導・キャンペーンの実施 10 回 ペットの災害対策啓発活動の実施 2 回	
取組結果	①保健環境委員と協働で地域の巡回キャンペーン・リーフレットの配布を実施しました。また保健センター職員による巡回指導を実施しました（リーフレット配布 320 枚）。 ②ペットとの同行避難訓練は、9 月の総合防災訓練が中止となったため実施できませんでした。 また、4 月の野立学区の町内会防災訓練（参加者 160 名）及び 9 月のイオンモール熱田のみんなの防災習慣 2024（参加者 66 名）においてペットの災害対策啓発活動を実施しました。 ③10 月の区民まつりにおいて、なかよしペット事業を実施しました（参加者数 410 名）。 ④4 月の狂犬病予防集合注射会場（1 か所）で、来場者に犬の適正飼養及び災害対策に関する啓発を実施しました（122 頭来場）。	
取組全体の達成度	☆☆☆☆	

将来像 2 人が支え合い、自分らしく暮らせるまち

取組項目	取組 14 妊娠期からの切れ目のない支援	継続
取組内容	①妊娠中のご夫婦ご家族が、子育てに関する問題解決のスキルを学び、出産後の子育ての不安を解消し、安心して育児ができるよう支援します。 ②妊娠届や出生報告の提出時の面接や妊娠 32 週頃の電話相談などを行い、不安を軽減し、安心して出産・育児に臨めるよう支援します。 ③出生報告を提出された新生児・乳児のいる全家庭を対象に、保健師・助産師による訪問を行います。また、必要時には、医療機関との連携を密にし、早期訪問につなげます。 ④3 か月児、1 歳 6 か月児、3 歳児を対象とした健診を実施し、乳幼児の疾病予防、健康の保持増進及び保護者への養育支援を行います。	保健予防課
具体的な目標値	ニューファミリーセミナーを年 6 回開催 妊娠届・出生報告を提出された全ての方に面接等を実施 妊娠 32 週頃の全ての妊婦に電話相談等の情報提供を実施 出生報告を提出された新生児・乳児のいる全家庭を対象に保健師・助産師による家庭訪問を実施 健診対象年齢の全ての乳幼児への健診の実施	
目標に対する実績	・ニューファミリーセミナー3 日コース年 6 回のうち、6 回開催（3 日コースのうち 1 講座は参加希望者なしのため中止） ・妊娠届 543 件・出生報告 410 件全ての方に面接等を実施（100%） ・妊娠 32 週頃の全ての妊婦へ電話相談等 410 件を実施（電話で話ができなかった方にも手紙・メールにて相談等実施） ・新生児・乳児訪問 407 件実施（100%） ・3 か月児健康診査 99.3%、1 歳 6 か月児健康診査 98.2%、3 歳児健康診査 99%が受診済み、未受診者のほとんどが状況把握済みもしくは受診予定あり、9 名状況確認中	
取組結果	①妊娠中も健康で安全安心に過ごしていただくため、多職種による話や沐浴・妊婦体験などのコースを 3 日コースで開催。令和 6 年度からロゴフォームによる予約を開始し、順調に予約されて例年より早く予約が埋まり、今まで参加希望者が少なかったコースも参加希望者が増えました。 ②妊娠届や出生報告提出時の面接などや妊娠 32 週頃の妊婦に電話相談等を行い、不安を軽減し、安心して出産・育児に臨めるように支援しました。 ③出生報告を提出された新生児・乳児のいる全家庭を対象に保健師・助産師による訪問を行いました。また、必要な妊産婦については、医療機関や関係機関と連携を取り、早期に訪問や面接等で支援をしました。 ④乳幼児健診未受診者に関しても追跡はできているので、ほぼ 100%健診対象の乳幼児に健診や発育の確認はできています。	
取組全体の達成度	☆☆☆	

取組項目	取組 15 子育て支援に係る情報発信	拡充
取組内容	①主任児童委員が第 1 子の誕生した家庭に「赤ちゃん訪問」を実施し、地域の子育て交流会などの情報を提供します。また、年 1 回発行する「あつた子育てガイド」や熱田区子育て支援ネットワーク連絡会が運営する LINE などにより子育て支援に係る情報を発信します。 ②親身になった相談対応とともに、複雑化している保育施設に係るさまざまな情報を的確に提供します。 ③新たに「あつた子育て応援ポータルサイト（仮称）」を制作し、区内の各子育て関係機関における子育て施策について情報発信します。	民生子ども課 保健予防課 社会福祉協議会 民生子ども課 民生子ども課 保健予防課 社会福祉協議会
具体的な目標値	「赤ちゃん訪問」訪問率 95%以上（転出者・区不在者を除く） 令和 7 年 4 月 1 日現在の保育施設利用の待機児童 0（ゼロ） 保育所等利用に関する職員出張説明会の開催 30 回 あつた子育て応援ポータルサイトの開設	
目標に対する実績	「赤ちゃん訪問」訪問率 96.0%（依頼件数 247 件中 237 件訪問） 令和 7 年 4 月 1 日現在の保育施設利用の待機児童 0（ゼロ） 保育所等利用に関する職員出張説明会の開催 30 回 あつた子育て応援ポータルサイトを開設	
取組結果	①赤ちゃん訪問等 ・第 1 子の赤ちゃんが誕生した家庭の 95%以上に訪問しました。 ・「あつた子育てカレンダー」（子育て交流会情報）を毎月発行し、区内の子育て関係機関に配付しました。 ・「あつた子育てガイド」（子育て関係機関情報）を作成し、区内の子育て関係機関に配布しました。 ・子育てに関するイベントや講座情報等を区ウェブサイト、なごや子育てアプリなごみー及び熱田区子育て支援ネットワーク連絡会 LINE などの様々なツールにより発信しました。 ②保育施設 ・令和 7 年 4 月 1 日現在の保育施設利用の待機児童 0（ゼロ） ・区内保育施設の空き状況のみならず、過去の利用選考の結果をデータ化し情報提供しました。 ・発達の遅れなど特別な支援が必要な相談については、保健センター、療育センター等と連携し、最善の方法を一緒に検討しました。 ・未就園児の保護者を対象に、学区子育て交流会・児童館・図書館に出向いて、出張説明会を開催した。延べ 30 回、204 人に実施しました。 ③あつた子育て応援ポータルサイト「あつた子育てねっと」 ・熱田区子育て支援ネットワーク連絡会において WG を立ち上げ、サイトのコンテンツ等を決定しました。 ・委託業者がサイトを制作し、令和 7 年 3 月に外部公開しました。	
取組全体の達成度	☆☆☆☆	

取組項目	取組 16 子育ての仲間づくり	継続
取組内容	①子育て家庭の交流を図ることなどにより子育てを支援するため、区内の保育施設や主任児童委員、子育て支援団体と連携して「あつたっ子ひろば」を開催します。 ②地域で孤立し、交流の機会がない子育て中の親が多いことから、育児の不安や悩みを一人で抱え込むことがないよう、対象者の特性に応じた子育て教室等を感染対策を徹底し行います。	民生子ども課 保健予防課 社会福祉協議会 保健予防課
具体的な目標値	「あつたっ子ひろば」の参加者の満足度 90%以上 「0歳のための子育て教室」（0歳児後半を対象とした子育て教室）の開催 12回 「カンガルークラブ」（育児に不安を感じている母親を対象とした教室）の開催 6回 「チェリー・きっず・クラブ」（多胎児の親と妊婦を対象とした教室）の開催 6回	
目標に対する実績	「あつたっ子ひろば」の参加者の満足度 96.9% 「0歳のための子育て教室」12回のうち12回開催 「カンガルークラブ」6回のうち5回開催（1回は予約申込者欠席により開催なし） 「チェリー・きっず・クラブ」6回のうち6回開催	
取組結果	①・熱田区子育て支援ネットワーク連絡会での検討の結果、コロナ禍前に実施していた「あつたっ子ひろば mini2024」を5月29日に保健センター、5月30日に熱田児童館で開催しました。熱田区子育て支援ネットワーク連絡会の参加団体や主任児童委員を2グループに分け、各グループで主体的に企画検討を実施しました。親子交流会など地域に密着した内容となり、計49組109人の親子に参加いただきました。 ・「あつたっ子ひろば 2024」を10月31日に区役所で開催しました。前年よりも内容を充実させ、計55組120人の親子に参加いただきました。 ・「あつたっ子ひろば」全体の参加者の満足度は96.9%でした。 ②・「0歳のための子育て教室」：心理士や保健師による子どもの成長発達等の講話、保育士によるふれあい遊びの実技体験、図書館司書による読み聞かせ、エリア支援保育所による地域の遊び場紹介等、日常の育児に役立つ実践的な内容と参加者間の交流の時間を設け開催。延べ93組の0歳児とその父親母親らが参加しました。 ・「カンガルークラブ」：育児不安等を抱える保護者を対象、心理専門職を講師に少人数で交流を行い親子関係修復や心理的安定を図る場として開催。延べ11組の保護者が参加しました。 ・「チェリー・きっず・クラブ」：多胎児とその保護者らを対象、多胎育児特有の悩みの共有や育児情報交換、先輩ママらの経験談を聞く等の場として開催。多胎児とその保護者ら延べ25組参加しました。兄弟児や祖母、双胎妊婦の参加もありました。	
取組全体の達成度	☆☆☆☆	

取組項目	取組 17 児童虐待の防止	継続
取組内容	①民生・児童委員や保育所、学校、警察などの関係機関との定期的な会合のほか必要に応じて迅速に情報交換を行い、援護が必要な家庭の早期発見に努めます。 ②区内における虐待通告に関し、家庭訪問などを行い実情把握に努めるとともに、関係機関と必要な情報を共有して、各ケースの援助方針について検討し、適切に支援します。 ③子育て中の親及び妊娠中のご夫婦を対象に、子育てに関する問題解決のスキルを学び、養育力の向上を図る子育て世帯応援講座を開催します。 ④児童虐待防止推進月間である5月と11月に、児童虐待防止推進のための各種啓発活動を行います。11月は保育所の子どもたちが制作したオレンジリボンに関するモニュメントを設置し、大型商業施設等において啓発物品を配布します。	民生子ども課 保健予防課 西部児童相談所 警察署生活安全課 子ども応援委員会 民生子ども課 保健予防課
具体的な目標値	①各関係機関における最新の情報を共有するために定期的に連絡会議を開催 ②個別のケースに応じた具体的な援助方針を検討するために、各関係機関の実務者による会議を開催 ③講座参加者の満足度 90%以上 ④オレンジリボンキャンペーンにおいて啓発物品の配布 200セット以上	
目標に対する実績	①令和6年7月10日になごやこどもサポート熱田区代表者会議を開催し、各関係機関の情報を共有しました。 ②実務者会議を毎月開催し、ケースの検討及び継続支援を行いました。 ③子育て世帯応援講座の満足度は100%でした。 ④区内の大型商業施設及び協力事業所並びに保育所等利用申込時等において、啓発物品を500セット以上配布できました。	
取組結果	①弁護士や子育て関係機関から選任された委員で構成した「なごやこどもサポート熱田区代表者会議」を令和6年7月10日に開催し、児童虐待防止のために各関係機関が連携して対応していくことを確認しました。 ②各機関による情報交換をし、対応方針を検討する実務者会議を毎月開催しました。また、個別ケースを早急に検討するためのサポートチーム会議を7回開催しました。 ③子育て世帯応援講座は、3回連続講座（託児あり）として10月16日、23日、30日に実施しました。グループワークも取り入れ、自発的に保護者同士で話し合う姿も見られました。参加者は計21人であり、うち15人が託児利用希望者でした。 ④児童虐待防止推進月間である5月と11月に、区役所にてのぼりや行政情報モニターでオレンジリボンの周知を行いました。11月に啓発ツリーの設置と保育所の子どもたちが作成したモニュメントを掲示するとともに職員が189 オレンジジャンパーを着用し窓口業務を行いました。また、区内大型商業施設においてデジタルサイネージでの放映及び啓発物	

	品の配布を実施し、区内の子育て支援認定企業の従業員に啓発物品の配布及びオレンジリボンの着用を依頼しました。保育所等利用申込受付時及び子育て講座等、赤ちゃん訪問時にも配布しました。
取組全体の達成度	☆☆☆☆

取組項目	取組 18 学校における思春期セミナーの実施	継続
取組内容	命の大切さや自分や相手を思いやる心を育むことで次世代の児童虐待防止につなげるとともに、将来の妊娠を考えながら自分たちの生活や健康に向き合うことができるよう、区内全小中学校において思春期セミナーを実施します。	保健予防課
具体的な目標値	区内全小中学校で実施	
目標に対する実績	区内全小中学校で実施。その他、特別支援学校 1 校で実施。	
取組結果	各学区担当保健師が各学校の養護教諭らと連携し、対象となる児童生徒の年齢や特性に応じて、思春期セミナーの内容を企画し開催。具体的には、新しい命の始まりや胎児の成長、誕生した命の大切さや家族らの喜びや感動、また思春期における心と体の成長変化や、自分も相手をも大切に思いやる心、コミュニケーションの大切さ、命の繋がりに関する講話、赤ちゃん人形抱っこ体験や育児体験等の内容でした。区内全小中学校で実施。小学校 7 校で 473 名が受講、中学校 3 校で 438 名が受講しました。また、南特別支援学校とも連携し思春期セミナーを 1 回実施、83 名が受講しました。思春期セミナーを受講した児童生徒からは、命の大切さや、自分を生み育てた家族への感謝や思いやり、また赤ちゃんや小さな子への思いやりや、周囲の児童生徒への思いやり等の感想が聞かれました。	
取組全体の達成度	☆☆☆☆	

取組項目	取組 19 子どもの健全な育成	継続
取組内容	①年少リーダー講習会を開催し、キャンプや集団行動などの体験を通じて、ジュニアリーダーを育成します。 ②子ども会プロギング大会の開催、名古屋まつり「子ども会みこしパレード」への参加などさまざまな活動を通じて子ども会の情報を発信し、関心を高めるとともに、子ども会活動への参加を促します。 ③子どもの健やかな成長に寄与するため、スポーツや文化などの活動を通じた親子ふれあい事業を実施します。	民生子ども課 地域力推進課
具体的な目標値	年少リーダー講習会の開催 6回 親子のふれあいを深める講座の実施 3回以上	
目標に対する実績	年少リーダー講習会の開催 6回 親子のふれあいを深める講座の実施 3回	
取組結果	①年少リーダー講習会 5月 「お楽しみ会」 講堂 5月19日開催 8月 「キャンプ事前講習会」 講堂 書面開催（台風接近のため） 9月 「キャンプ講習会」 愛知県民の森 9月14日15日開催 「キャンプ事後講習会」 安城産業文化公園 9月29日開催 12月 「クリスマス会」 講堂 12月15日開催 1月 「ジュニアリーダーとのつどい」 講堂 1月19日開催 ②区民まつり（10月13日）ブース参加（玉せん販売） 名古屋まつり（10月20日）子ども会みこしパレード参加（千年学区） プロギング（11月4日）白鳥公園周辺 ③親子ふれあいいけばな体験教室（10月6日）19組参加 親子ふれあい映画観賞会（12月22日）180人参加 親子ふれあいいけばな体験教室（3月2日）35組参加	
取組全体の達成度	☆☆☆☆	

取組項目	取組 20 事故や犯罪に巻き込まれない環境づくり	継続
取組内容	①次世代を担う青少年が健全に成長できる環境づくりのため、子ども達への見守りや声かけを行う「青少年を守る運動」や「地域の世話やき活動」などの青少年健全育成活動を、地域の皆さま、学校、関係機関と連携して支援します。 また各種活動に合わせて区役所が中心となり青少年健全育成活動や啓発を実施します。 ②子どもをインターネットの利用による犯罪から守るため、各種行事の場を通じて保護者や子どもにインターネットの安全利用について啓発します。 また、子どもを対象としたインターネットの適正利用等に関する講演会を開催します。	地域力推進課
具体的な目標値	青少年を守るキャンペーン延べ参加者数 12,000 人 インターネット適正利用啓発の実施 3 回以上	
目標に対する実績	青少年を守るキャンペーン延べ参加者数 12,179 人 インターネット適正利用啓発の実施 3 回	
取組結果	①各学区において、夏休み・冬休み（実施中）に合わせて青少年を守るキャンペーンを実施。併せて地域の世話やき活動を学区・地域の皆様と実施しました。 ②子どもが参加対象者となるスポーツ行事や講座でインターネットの適正利用を呼び掛けるチラシを配布しました。併せて、12 月には本市子ども青少年局の少年指導員を講師としてお招きし、小学生家庭対象の映画鑑賞会でネットいじめなどに関するおはなし会を実施しました。	
取組全体の達成度	☆☆☆☆	

取組項目	取組 21 包括的相談支援体制の構築	継続
取組内容	高齢、障害、子育て、生活困窮など複数の要因により困難な状況にある人を総合的に支援するために、関係機関が連携して包括的に支援する体制をつくります。 支援に活かすための実践的な研修や、各専門機関が持つ情報や知識の共有を進めるとともに、事業についてより広く知っていただくための広報啓発を行います。	福祉課 社会福祉協議会 区役所関係課 その他関係機関
具体的な目標値	重層的支援体制整備事業熱田区連携会議の開催 年 2 回 重層的支援会議の開催 年 3～4 回程度に加え随時開催 各相談支援機関を対象とした連携強化に向けた研修 年 1 回	
目標に対する実績	・重層的支援体制整備事業熱田区連携会議の開催 2 回実施 ・重層的支援会議の開催 4 回実施 ・区窓口職員向けの研修会の実施 1 回実施	
取組結果	・重層的支援体制整備事業区連携会議の開催 2 回実施（第 1 回：7 月、第 2 回：3 月） ・重層的支援会議の開催 3 回実施（第 1 回：6 月、第 2 回：10 月、第 3 回：2 月） ・ケース会議の開催（支援会議含む） 28 回実施※随時（4 月：1 回、5 月：1 回、6 月：3 回、8 月：1 回、9 月：10 回、10 月：2 回、11 月：3 回、12 月：2 回、1 月：3 回、3 月：2 回） ・重層的支援体制整備事業担当者会の開催 5 回実施（第 1 回：4 月、第 2 回：5 月、第 3 回：8 月、第 4 回：9 月、第 5 回：1 月） 高齢、障害、子育て、生活困窮等対象や分野を超えた関係機関との連携・協働に向けて実施 ・参加支援プロジェクトを 2 回実施（11 月、3 月） ・区役所窓口職員向け研修を 1 回実施（12 月）、各課会でのミニ研修会を 2～3 月に 7 課で実施 ・参加支援・地域づくり支援拠点「にばん荘ハウス」を週 2 回（火曜日・金曜日）開所 開所日 130 日、利用者数（ケース対象者）延べ 185 名、関係者来所者数（地域住民含む）延べ 1250 名	
取組全体の達成度	☆☆☆☆	

取組項目	取組 22 地域福祉活動の支援	継続
取組内容	①相談窓口の開設、交流会開催によりふれあい・いきいきサロンの開設・運営支援を行います。 ②支援の必要な方を地域で日常的に見守り、助け合い、必要な福祉サービスにつなげる活動を町内など小エリアから推進します。 ③生活支援サービスの充実をめざし、地域で福祉活動ができる人材の育成を行います。あわせて生活支援部会を開催し、生活支援サービスについて議論し開発・研究します。 ④第 5 次地域福祉活動計画※の関連プロジェクトを推進します。 ※令和 6 年から 5 年間、熱田区が誰もが住みやすい福祉のまちとなるよう熱田区社会福祉協議会が事務局となり、地域住民・団体・行政等と一体で策定した福祉計画	社会福祉協議会 いきいき支援センター 福祉課 保健予防課
具体的な目標値	ふれあい・いきいきサロンの新規開設 3 か所 地域支えあい事業活動ボランティア数、見守り支援世帯数 5%増 地域福祉活動計画関連プロジェクト 新規 2 件	
目標に対する実績	ふれあい・いきいきサロンの新規開設 5 か所 地域支えあい事業活動ボランティア数 6.1%増、見守り世帯数 3.6%増 地域福祉活動計画関連プロジェクト 新規 13 件	
取組結果	①サロンの支援については、財政面において運営助成金での支援を実施しました。新規サロン開設については、5 か所開設することができました。一方、運営者の高齢化や後継者不足から 3 か所サロンが閉鎖となりました。(91 か所→93 か所) ②地域支えあい事業の活動ボランティアは 6.1%増の 816 人、見守り支援世帯数は 3.6%増の 199 世帯 ③地域福祉活動計画全体会議（つながりあった会議）を生活支援部会と合同で実施しました。また、区内で子ども食堂の運営者による連絡会を実施しました。 ④複数の関連プロジェクトを地域住民や関係機関と連携して実施しました。地域福祉活動計画関連の新規プロジェクト 13 件でした。	
取組全体の達成度	☆☆☆	

取組項目	取組 23 高齢者虐待の防止	継続
取組内容	高齢者虐待を防ぐため、高齢者相談の際やイベント開催時に高齢者及びその家族などに相談・通報窓口の広報を行います。 虐待ケースについて高齢者虐待防止連絡会議・高齢者虐待防止ネットワーク支援会議を開催し、関係機関と連携を図り支援を行います。 虐待が起こる背景には多くの複合的な課題があるため、被虐待者だけでなく虐待者に対しても必要な支援ができるよう関係機関と連携を図り対応していきます。	福祉課 保健予防課 いきいき支援センター
具体的な目標値	高齢者虐待防止連絡会議の開催 6回 高齢者虐待防止ネットワーク支援会議の開催 随時	
目標に対する実績	高齢者虐待防止連絡会議の開催 6回 高齢者虐待防止ネットワーク支援会議の開催 1回	
取組結果	区民まつりブースにて高齢者虐待相談支援センターのチラシを配布 隔月 高齢者虐待防止連絡会議開催（6回開催） 適宜 必要に応じて高齢者虐待防止ネットワーク支援会議を開催（1回開催） 社会福祉協議会重層的支援個別会議への出席（1回） 障害者基幹相談支援センターとのケース会議を開催（2回開催）	
取組全体の達成度	☆☆☆☆	

取組項目	取組 24 地域包括ケアシステムの推進	拡充
取組内容	地域包括ケアシステム※の構築に向けて、行政や関係機関、事業者や住民の皆さまと協力しながら、介護予防や認知症施策、地域における支え合い活動などを通じ、「自分らしくいつまでも暮らすことのできるまちづくり」への取り組みを推進します。 ※介護や支援が必要になっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・介護予防・住まい・生活支援が一体的に提供されるシステム なお、昨年度までの取り組みを通じ、高齢者の孤立化やつながりの場の大切さについてより一層の啓発が必要であることが分かりました。この課題に対応するため、令和 6 年度は皆様に情報を広くお伝えするための講演会の実施や、動画の制作など、世代を超えて親しみを持っていただけるような、分かりやすい啓発※を実施します。 ※啓発については、取組 28 に掲	福祉課 保健予防課 社会福祉協議会 いきいき支援センター
具体的な目標値	地域包括ケア推進会議の開催 2 回 関係機関による課題などの検討会議の開催 10 回 講演会など各種啓発事業の実施 5 回 地域包括ケア啓発漫画冊子の作成・配布 4,000 部 地域包括ケア啓発動画の作成 1 件	
目標に対する実績	地域包括ケア推進会議の開催 2 回 関係機関による課題などの検討会議の開催 13 回 講演会など各種啓発事業の実施 35 回 地域包括ケア啓発漫画冊子の作成・配布 4,000 部 地域包括ケア啓発動画 1 件・漫画電子紙芝居 2 件作成	
取組結果	・未来のまちづくりを担う若い世代へ向けた広報啓発として、動画等（①～③）を作成し、SNS や WEB サイト（YouTube 動画視聴回数 1,600 回）、区民まつりや各種行事・イベントなどでの啓発を実施しました。さらに、地域のサロン、小中学校の授業（3 校）、学童保育・児童館などで動画を活用した人とのつながりの大切さについて直接届ける取り組みを実施しました（1,109 人）。 ①大学生と協働して地域包括ケア推進啓発動画を作成 ②啓発漫画を作成し、区内の全小中学生へ配付 ③令和 6 年度と令和 5 年度に作成した啓発漫画を活用した電子紙芝居を作成 ・見守り活動やコミュニティのあり方について学ぶ地域支援ネットワーク講演会を実施しました（57 名参加）。 ・緊急時あんしんキットは、区民まつりなど広く人の集まる機会を活用し、周知を図り、519 セット配付しました。	
取組全体の達成度	☆☆☆☆	

取組項目	取組 25 認知症の方や家族への支援	継続
取組内容	①認知症の方とその家族を地域で支えていくために、あらゆる世代に向けて定期及び出張による認知症サポーター養成講座を実施します。 ②認知症の正しい理解を促進するために、各種取組を通じた広報啓発を行います。 ・認知症になっても安心して暮らせるまち熱田絵画作品募集 ・認知症への理解を深める講演会などの実施 ・事業者向けに「認知症サポーターがいます」ステッカーの配布	いきいき支援センター 福祉課 保健予防課 社会福祉協議会
具体的な目標値	認知症サポーター養成講座の定期開催、出前講座の開催 認知症啓発の絵画作品への応募点数 区内児童から 100 点以上 認知症講演会などの参加者の満足度 80%以上 ステッカー配布店舗数 18 件以上	
目標に対する実績	認知症サポーター養成講座の定期開催、出前講座の開催 認知症啓発の絵画作品への応募点数 80 点 認知症講演会の参加者の満足度 81.4% ステッカー配布店舗数 10 件	
取組結果	①認知症サポーター養成講座の開催 実施回数：27 回（定期開催 12 回、出張開催 15 回）参加者：394 名 出張先：信用金庫、ショッピングモール、カフェ、大学、専門学校、福祉会館、サロン等 ②認知症の広報啓発 ・認知症になっても安心して暮らせるまち熱田絵画作品募集 区内小学生配布：2,753 枚 応募作品数：80 点 展示：熱田区図書館 9/14～10/17 34 日間 イオンモール熱田 10/21～11/4 15 日間 ・認知症講演会 1/30 映画「オレンジ・ランプ」の上映、熱田区の認知症の取組紹介 ・事業者向け「認知症サポーターがいます」ステッカー配布 10 件 ショッピングモール(5)、熱田区役所庁内、熱田図書館、福祉会館、せとしん、中電 ※大型店舗については揭示数で集計。また、件数には公的施設を含む。	
取組全体の達成度	☆☆☆	

取組項目	取組 26 高齢者の仲間づくりの推進	継続
取組内容	①老人クラブ主催の事業を支援するとともに、老人クラブ活動の PR を積極的に行い、高齢者の仲間づくりを支援します。 ②高齢者が住み慣れた地域でいきいきと生活できるよう、高齢者サロンの運営を支援するとともに、新規サロンの立ち上げを支援します。	福祉課 社会福祉協議会
具体的な目標値	①老人クラブ活動について広報 10 回以上 ②高齢者サロンの開催回数 800 回以上	
目標に対する実績	①老人クラブ活動について広報 10 回 ②高齢者サロンの開催回数 1,078 回	
取組結果	①通年 老人クラブ活動に対する支援を行いました。 随時 区民まつりブースにて加入促進の PR を行いました。 広報なごや 4 月号と 2 月号に加入促進の記事を掲載しました。 市老人クラブ HP へ行事を掲載しました。(10 行事) 区政協・民児協にて加入促進の協力依頼を行いました。(1 月) ②通年 高齢者を対象とするサロンの運営の支援を行いました。 随時 高齢者を対象とするサロンの新規立ち上げ支援を行いました。(2 件)	
取組全体の達成度	☆☆☆☆	

取組項目	取組 27 障害者への支援	継続
取組内容	①防災訓練、区民まつり、エンジョイフェア*などにおいて、熱田区障害者自立支援連絡協議会や関係機関と連携し、障害や、障害のある人への理解を深める取組みを推進します。また、ヘルプマークを広く周知します。 ※地域において障害のある人もない人も楽しみながら福祉に触れ、交流できるイベント ②障害に対する理解を深めるため及び障害者の社会参画の機会を増やし自立を促進するために広報を充実し、区役所における授産製品定期販売や区内イベント時の随時販売の実施を推進します。また、販売機会や商品開発などについて事業所間で定期的に情報交換ができるよう支援します。 ③熱田区障害者自立支援連絡協議会と協働で障害者福祉に関する地域課題を検討するとともに、障害福祉サービス事業所向けの研修会を開催し、関係機関との連携を強化することで、多様なニーズへ対応し、適切な支援につなげるよう努めます。	福祉課 保健予防課 社会福祉協議会 福祉課 福祉課 保健予防課 社会福祉協議会
具体的な目標値	イベントなどにおけるヘルプマークの広報及び障害の特性等についての啓発 7回以上 授産製品販売出店回数 25回(区役所及び区民まつり) 事業所向けの研修会の開催 4回以上	
目標に対する実績	イベントなどにおけるヘルプマークの広報及び障害の特性等についての啓発 7回 授産製品販売出店回数 26回(区役所及び区民まつり等各種イベント) 事業所向けの研修会の開催 6回	
取組結果	①区民まつりや学区コンサート事業では令和6年度もブース出展をすることができました。大変多くの方にご来場いただき、ボッチャ体験やヘルプマークの広報など、障害や障害者についての理解を深める取り組みを行いました。さらに令和6年度から、ターミナル駅や大型商業施設等での広報啓発および授産製品販売を行い、機会の拡大を行うことができました。 ②区役所定期販売では、区役所だけでなく図書館や文化小劇場利用者にもPRできるよう、天候や状況に合わせて販売場所を柔軟に変更しながら販売活動を行いました。 また、学区行事や区内イベント開催に合わせた販売活動を行いました。 ③基幹支援センターの法人変更に伴う熱田区自立支援協議会の活動について、年度の途中に基幹相談支援センターの運営法人が変更されましたが、各部会や研修（見学会など）を開催することができました。	
取組全体の達成度	☆☆☆☆	

取組項目	取組 28 「つながる」っていいね！ あったか仲間づくりプロジェクト	新規
取組内容	「ひとり暮らし高齢者」の増加により、高齢者の孤立とこれによる健康悪化が懸念されます。一方「人とのつながり」は健康に好影響を与えることが知られていることから、人とのつながりづくりの取組みに関して先行する自治体の関係者を招き「仲間づくり」の重要性を共有するフォーラムを開催します。 また、未来のまちづくりを担う若い世代へ向けて、「人とのつながり」の重要性を啓発※します。 これらの取り組みを通じて、住民同士による「仲間づくり」活動を進めることで、健康づくりに取り組みます。 ※啓発の内容については、取組 24 に再掲	保健予防課 福祉課 社会福祉協議会
具体的な目標値	フォーラムの開催 1 回 地域包括ケア啓発動画の作成 1 件 地域包括ケア啓発漫画冊子の作成・配布 4,000 部	
目標に対する実績	①フォーラムの開催 1 回 ②地域包括ケア啓発動画の作成 1 件 地域包括ケア啓発漫画冊子の作成・配布 4,000 部 地域包括ケア啓発漫画電子紙芝居の作成 2 件	
取組結果	①令和 6 年 11 月 30 日に開催しました。フォーラムの前半では人と人とのつながり作りに関して、国内先進事例の 3 自治体(岩手県陸前高田市、大阪府豊中市、千葉県浦安市)の関係者が取組みの紹介を行いました。また、区内においては白鳥学区、大宝学区の住民支援活動の代表者が取組みの紹介を行いました。フォーラムの後半では、先進事例の 3 自治体の取り組み発表者をシンポジストとしてシンポジウムを開催しました。フォーラムの参加者は各学区の代表者として区政協力委員・民生児童委員・保健環境委員の各正副会長ら 38 名で、先進的な取り組みを知り、その関係者らとの意見交換で得た情報を各学区内で共有し、さらなる地域活動の推進を図りました。また、フォーラムの映像媒体等を使用し多くの区民へ情報提供を行います。(R7.4 月～公開中) ②・未来のまちづくりを担う大学生とともに、人與人(地域)とのつながりの大切さを伝える動画を制作し、SNS やデジタルサイネージなどを活用した広報を実施しました。 ・小中学生へ向けた漫画を制作し、区内全小中学生へ配付することで保護者世代を含めた普及啓発を実施しました。 ・令和 6 年度と令和 5 年度に制作した漫画を活用した電子紙芝居を制作し、学校・学童保育・児童館等での上映会など若い世代へ直接届ける取組みを関係機関と共に実施しました。	
取組全体の達成度	☆☆☆☆	

取組項目	取組 29 健康づくりの推進	継続
取組内容	①介護予防事業いきいき教室 区民まつりや商業施設などで、専門職による健康相談や健康チェックを行います。 ②地域健康づくり事業 保健環境委員会などの地域団体と連携して、オーラルフレイル※、ロコモ※、低栄養などを内容とするフレイル※予防の教室や講座を実施します。 ※オーラルフレイル 口腔機能におけるフレイル。むせや食べこぼしなど、お口のささいな衰えの放置により、低栄養や社会的参加の減少を招き、心身機能まで影響を与える状態 ※ロコモ 関節や筋肉などの運動器の機能低下により、立ったり歩いたりすることが困難になる状態 ※フレイル 虚弱を意味し、加齢により体と心の働きや社会的なつながりが弱くなった状態 ③フレイル予防教室 「足圧計」を活用して、足の健康状態を計る測定会を各学区の高齢者サロン等で実施します。 自分の足の状態に気づき、最期まで自分の脚で歩き続ける健康づくりのきっかけとするとともに、最新の機器を使うことで関心を持ってもらい、引きこもりがちな方も高齢者サロン等に足を運ぶきっかけとなることを目指します。	保健予防課
具体的な目標値	①あつた健康講座 年3回開催 ②区民まつり、その他施設での出張健康相談の開催 ③足圧計の活用 各学区1回以上	
目標に対する実績	①あつた健康講座 年4回実施 ②区民まつり、その他施設での出張健康相談3回実施 ③足圧計の活用 全学区実施	
取組結果	①あつた健康講座 延べ4回 319人参加 他に、いきいき教室 延べ12回 188人参加 ②9月17日イオンモール熱田(97名)、10月13日区民まつり(89名)、12月13日熱田福祉会館(20名)、保健センター職員が各会場へ出向き、様々な健康相談を実施 ③足圧計の活用 全学区実施 様々な事業に参加協力させていただきながら、延べ42回 722名実施	
取組全体の達成度	☆☆☆☆	

取組項目	取組 30 感染症防止対策などの普及啓発	継続
取組内容	感染症のまん延に対する不安を軽減するため、感染症の予防や防止対策などに関する正しい知識の普及啓発を行います。	保健予防課
具体的な目標値	高齢者サロンなどの集いの場や、高齢者福祉施設や幼稚園・保育園などの施設で、感染症防止対策などの普及啓発を年間 30 回以上実施	
目標に対する実績	高齢者サロンなどの集いの場や、高齢者福祉施設や幼稚園・保育園などの施設で、感染症防止対策などの普及啓発は 65 回（チラシ配布等除く）	
取組結果	地域サロンなどの集いの場での感染症予防に関する簡単な普及啓発を実施。幼稚園や保育園に関しても歯の健康づくり事業の健康教育の場での普及啓発を実施。青池町の防災訓練時では災害時の感染症対策について普及啓発を行いました。また、インフルエンザ等の流行に備えて 11 月から行われる保健センター内事業では、事業の中で簡単な普及啓発やチラシの配布を行っています。 地域サロンなどの集いの場 25 回 幼稚園・保育園など 4 回 防災訓練 1 回 保健センター内事業 32 回 その他 3 回 チラシ等配布による普及啓発 4 回 高齢者施設向け「保健センターだより」メール送信 3 回 幼稚園・保育園への啓発資料配布 1 回（28 施設）、「保健センターだより」メール送信 2 回（3 施設）	
取組全体の達成度	☆☆☆☆	

将来像 3 生きがいや活力を感じ、魅力あふれるまち

取組項目	取組 31 文化活動の振興	継続
取組内容	①生涯にわたって生き生きと活動し、地域社会のきずなを強められるよう、地域の文化団体と協働し、区民まつり文化祭やその他文化事業を実施し、誰もが気軽に文化に触れることができる機会をつくります。また、より多くの方が文化事業に参加いただけるよう周知等を工夫します。 ※区民まつり文化祭については、取組 34 に再掲 ②地域に愛着と誇りを持っていただけるよう、熱田生涯学習センターなどと連携し、地域の魅力や関心のある内容について学べる機会を提供します。	地域力推進課
具体的な目標値	「春のいけ花展」「学生書道選抜展」の開催 地域の魅力について学べる講座の開催	
目標に対する実績	「春のいけ花展」「学生書道選抜展」の開催 地域の魅力について学べる講座の開催	
取組結果	①「春のいけ花展」（3月2日開催）「学生書道選抜展」（3月15日・16日開催）を開催しました。春のいけ花展では親子ふれあいいいけばな体験教室を併せて開催し、102組の応募をいただき、いけ花にあまり親しみのない方にもいけ花に触れていただく取り組みを行いました。 ②熱田区生涯学習センターと連携し、「なごやのスポーツの歴史」講座を開催しました。令和8年に開催が予定されているアジア・アジアパラ競技大会の機運醸成や「パラスポーツ」など新しいスポーツについて学びを深める講座を行いました。	
取組全体の達成度	☆☆☆☆	

取組項目	取組 32 スポーツの振興	継続
取組内容	各学区のスポーツ推進委員、区内のスポーツ団体や地域の皆さまと協力し、各種スポーツ大会を開催するとともに、スポーツに関する講座を開催するなど、区のスポーツ振興を推進します。より多くの方にスポーツに親しんでいただけるよう大会の開催方法などを検討し、参加しやすいスポーツ事業の開催に努めます。 また、2026 年に開催されるアジア競技大会・アジアパラ競技大会にむけてスポーツ事業を通じた機運の醸成を行います。	地域力推進課
具体的な目標値	成人を対象としたスポーツ事業の実施 11 事業 子どもを対象としたスポーツ事業の実施 3 事業 スポーツに関する各種講座の開催 2 事業	
目標に対する実績	成人を対象としたスポーツ事業の実施 10 事業 子どもを対象としたスポーツ事業の実施 3 事業 スポーツに関する各種講座の開催 3 事業	
取組結果	成人を対象とした事業及び子どもを対象とした事業ともに、これまでの実績やニーズを踏まえ工夫を行いながら実施しました。 前年度に引き続き、熱田生涯学習センター、熱田区社会福祉協議会と共同でユニバーサルスポーツに親しむことができる講座を実施しました。 ユニバーサルスポーツの一種である「モルック」競技をより多くの方に知っていただけるよう、熱田区体育協会、熱田区スポーツ推進委員連絡協議会と協力して、区民まつりへのブース出展を行いました。 春に行う予定であった「熱田区学区対抗 OB ソフトボール大会」については、天候不順により中止となりました。	
取組全体の達成度	☆☆☆	

取組項目	取組 33 地域コミュニティ活性化の支援	拡充
取組内容	①区内の町内会・自治会の特色や行事について、地域のイベントなどの機会をとらえ広報するとともに、区ウェブサイトや広報なごや区版などで発信します。また、町内会・自治会が行う交通安全運動や防犯灯の設置などの地域活性化への取り組みを区公式 X、広報なごや区版などで紹介していきます。 ②地域活動の担い手の確保のため、地域コミュニティ活性化の支援を進めます。 ③コミュニティサポーターを活用して、地域活動に関する相談を受け、地域課題の解決に向けた取り組みのアドバイスを行います。	地域力推進課
具体的な目標値	町内会・自治会の特色や取組みについて各種媒体を活用し広報 地域活動の新たな担い手の確保につなげるワークショップ等を実施	
目標に対する実績	町内会・自治会の特色や取組みについて各種媒体を活用し広報 地域活動の新たな担い手の確保につなげるワークショップ等を実施	
取組結果	①学区や町内会等の地域活動取材するとともに、各種媒体により広報啓発を実施 ・広報なごや区版に記事を掲載 4月～3月毎月 ・区ウェブサイト内に専用ページを立ち上げ、取材記事や区政協力委員協議会資料を掲載するとともに学区ウェブサイト等のリンクを設定 ・「地域の行事 PR 事業」として地域イベントを区ウェブサイトで PR 7 件 ・X による発信 49 回 ・LINE による発信 44 回 うち、区政協力委員専用 LINE を 10 月から発信 6 回 ・区役所庁舎内のモニターによる発信 12 回 ・町内会加入申込書投函ポストや町内会加入申込メールによる町内会長への取り次ぎ 9 件 ②・中小企業家同友会加入事業者と学区役員との意見交換会を実施 1 回 ・地域活動の事例発表と新たな担い手確保に向けて、「愛と希望の地域活動」(※)を合言葉とした活動のキックオフイベントを開催 1 回 ③・コミュニティサポーターが各学区の連絡協議会に出席し、LINE の登録勧奨や相談対応等を実施 12 回 ・学区や町内会における ICT の活用支援を実施 (1)専門業者を学区に派遣し、ICT に関する相談会を開催(千年学区) (2)随時、コミュニティサポーターによる支援を実施 ※「愛と希望の地域活動」：より良いコミュニティを次世代に引き継ぐために行う地域活動をイメージした合言葉	
取組全体の達成度	☆☆☆☆	

取組項目	取組 34 区民の交流、ふれあいの場づくり	継続
取組内容	地域への愛着心を高め、心の豊かさとぬくもりが感じられるまちづくりを目指し、区民相互のふれあいと交流の場として「熱田区区民まつり」を開催します。 ①「にぎわい秋まつり」において、区の魅力を活かした特色あるまつりを開催します。小中学生が日々の活動を発表する機会の提供やアジア競技大会・アジアパラ競技大会を見据えたスポーツに親しむことができるブースを出展します。 ②区民の皆さまが相互に交流し、地域で生き生きと活動した成果を発表する「文化祭」として、区民書道展・美術展、秋のいけ花展、区民芸能オンステージを開催します。	地域力推進課
具体的な目標値	区民まつり全体来場者数 14,000 人以上	
目標に対する実績	①「にぎわい秋まつり」来場者数 19,000 人 ②「文化祭」来場者数 1,325 人	
取組結果	① にぎわい秋まつりは、街道の要衝として発展した区の歴史を活かした「街道宿場市」などのにぎやかなブースや、チアダンス、和太鼓演奏などの楽しいステージ企画、熱田の名物を賞品としたスタンプラリーを実施しました。当日は晴天で非常に多くの来場者があり、多くのブースで行列ができるなど一日楽しんでいただくことができました。 アジア競技大会を見据えたスポーツ機運醸成企画として、プロバスケットボールチームの協力とプロサッカーボールチーム連携で、ボールに親しむ事業を実施しました。また、区内小学校と連携し、器楽部の発表の場としてステージで演奏を行い、区民との交流に寄与しました。 ②区民の皆様が相互に交流し、地域で生き生きと活動した成果を発表する「文化祭」として、区民書道展・美術展、秋のいけ花展、区民芸能オンステージを開催しました。SNS での情報発信や過去に参加実績のある方への周知を行った結果、前年を上回る出品数や来場者数となりました。	
取組全体の達成度	☆☆☆☆	

取組項目	取組 35 多様な地域の団体や大学との連携	継続
取組内容	にぎわいや交流のあるまちづくりを目指し、あつた宮宿会や熱田湊まちづくり協議会など多様な地域の団体や大学と協働します。 また、あつた堀川にぎわい委員会と協働で堀川一斉清掃やウォーキングを実施するほか、あつた観光まちづくり連盟での情報交換会、大学との共催イベントを実施するなど連携を図ります。	地域力推進課
具体的な目標値	各種団体の会議・行事への参加 40 回	
目標に対する実績	各種団体の会議・行事参加回数 51 回	
取組結果	あつた堀川一斉清掃と子ども乗船体験 9 月実施（定例会は 4 回参加） 熱田ぐるりん！ウォーキング 3 月実施（定例会は 5 回参加） あつた湊まちづくり協議会 総会・勉強会に参加 宮宿会 定例会 11 回、役員会 12 回参加、朔日市 11 回参加 大学との共催イベント（ワクワクおやこ夏まつり）8 月開催（5 月会議含む） あつた観光まちづくり連盟情報交換会 5 月・1 月開催	
取組全体の達成度	☆☆☆☆	

取組項目	取組 36 地域資源を活用した魅力発信	拡充
取組内容	大学、商店街などの各種実施団体と協働で「あつたか！あつた魅力発見市」を開催します。 区内外からお越しいただく多くの方に熱田の魅力を再発見していただけるよう、区内各所にマルシェを設置し、それぞれのマルシェで特色を活かした熱田の魅力を発信します。 合わせて、名鉄神宮前駅に開業する「あつた nagAya」で江戸時代の宮宿を再現した VR 体験ブースや歴史資料の展示、あつた紙芝居などによる魅力発信強化事業を行います。	地域力推進課
具体的な目標値	イベントを通してあつたの魅力が伝わった人の割合 80%	
目標に対する実績	あつたの魅力が伝わった人の割合 98%	
取組結果	11 月 17 日に魅力発見市を開催しました。(来場者数 延べ 38,679 人) 9 月に部分開業したあつた nagAya を実行委員会メンバーに加え、名鉄神宮前駅を利用する熱田神宮参拝者などの観光客に広く魅力を PR していただくことができました。 また、中央卸売市場のふれあい市場まつりと同日開催となったため、相互広報を行うなど PR を積極的に実施しました。 熱田区の玄関口である金山駅にて 10 月に 1 回、神宮前駅にて 11 月に 3 回、魅力発信イベント「あつたの風景～いま・むかし～」を 10 月、11 月に 4 回実施し、駅利用者を含めた熱田を訪れた方に VR 体験で宮宿の往時のにぎわいを体感していただいたほか、歴史ガイド付き浮世絵などの歴史資料展示やあつた湊など昔のあつたや現在の風景写真の展示を行うなど、魅力を強力に発信することができました。(来場者数 4 日間で 1,139 人)	
取組全体の達成度	☆☆☆☆	

取組項目	取組 37 歴史資料展示	継続
取組内容	熱田の魅力を多くの人に発信し、次世代へとつなげていくため、区役所 1 階の歴史資料展示コーナーや区民まつりなどのイベントのほか、さまざまな機会や場所で保有する歴史資料を展示します。	地域力推進課
具体的な目標値	歴史資料展示コーナー来場者の満足度 80%以上	
目標に対する実績	歴史資料展示コーナー来場者の満足度 76%	
取組結果	第 27 回歴史資料展示「熱田の大山祭」（令和 6 年 4 月～令和 6 年 9 月）および、第 28 回歴史資料展示「熱田の正月」（令和 6 年 10 月～令和 7 年 3 月）を実施しました。 また、区民まつり・熱田生涯学習まつりにて歴史資料展示を実施しました。 より多くの方に歴史資料展示コーナーを訪れてもらうことを目的として、区役所 1 階に設置してある広報映像配信システムでの広報画像の表示や案内の掲示を行いました。 さらに、区の魅力発信事業の一環として、10 月から 11 月にかけて計 4 回の資料展示を金山駅前や名鉄神宮前駅で行いました。 より良い展示ができるようボランティアの自己研鑽にも取り組み、岐阜県の関ヶ原や奈良への展示勉強会の研修を行いました。	
取組全体の達成度	☆☆☆	

取組項目	取組 38 熱田ブランドの推進	継続
取組内容	熱田の魅力を「熱田ブランド」として取りまとめ、「熱田ブランド+（プラス）」のウェブサイトやInstagramを活用して、一体的にわかりやすく区内外に情報発信します。	企画経理課
具体的な目標値	Instagramのフォロワー数 1,500人以上	
目標に対する実績	Instagramのフォロワー数 1,518人（3月末時点）	
取組結果	・区民が「熱田」に対する誇りと愛着を持てるよう、また、区内外の方に熱田の魅力を伝えるために、熱田の魅力資産（歴史・文化・自然など）を、Instagramを活用して定期的に情報発信しました。 ・熱田の魅力を伝える動画を制作し、年末年始、名古屋市で多くの方が訪れる場所の一つといわれる、熱田神宮内に設置された大型ビジョンで放映しました。 ・熱田神宮の大型ビジョンでの放映のほか、Instagram、区役所の行政情報モニターや区内の商業施設の放映などさまざまな広報媒体を活用して情報発信しました。 ・前年度開催したフォトコンテストの受賞作品を、熱田の魅力を伝える動画で活用するとともに、今年度オープンしたあつた nagAyaなどで実施した区の魅力発信イベントにおいて写真展示を行い、熱田の魅力を情報発信しました。	
取組全体の達成度	☆☆☆☆	

区政運営 住民に身近で質の高い行政サービスの提供

取組項目	取組 39 来庁者の目線に立った接遇	継続
取組内容	区役所に勤務する全ての職員が、来庁者を元気に明るくお迎えします。 ①来庁者の満足度向上に向けて区として目指すテーマを設定し、各課でテーマに沿った目標を「接遇・CS 向上宣言」としてとりまとめ実践するほか、接遇研修を実施します。 ②接遇研修の成果をもとに、各課で職場の課題に応じた研修を実施します。 ③区民サービス向上のため、新たな研修を検討します。	区役所全課
具体的な目標値	全所属を対象とした接遇研修の実施 研修受講者による所属別研修の実施	
目標に対する実績	全所属を対象とした接遇研修の実施 研修受講者による所属別研修の実施	
取組結果	①来庁されるお客さまに安心と信頼を与える応対を実施するため、令和6年度の接遇のテーマを「スマートな情報共有でスムーズな接遇」と定め、各課で「さわやかマナー研修」を実施しました。 ②民生子ども課、保険年金課を対象とした「接遇応対窓口調査」を令和6年11月6日、全所属を対象とした「報告会、フィードバック研修」を令和6年12月13日に実施するとともに、各職場において接遇研修を実施しました。	
取組全体の達成度	☆☆☆☆	

取組項目	取組 40 業務改善	継続
取組内容	業務改善に積極的に取り組み、より質の高い行政サービスを提供します。また、区民の皆様の信用を損なうことがないように、事務誤りの未然防止に向けて方針を定めて取り組みます。 朝礼や職場会議などを利用し、各所属で業務改善について話し合うなど、職員一人ひとりの意識を高め、さらなる業務改善につなげます。	区役所全課
具体的な目標値	業務改善を各課で1つ以上掲げ、取り組む 業務改善や事務誤り防止に向けて職場会議を実施する	
目標に対する実績	業務改善を各課で1つ以上掲げ、取り組みました。 業務改善や事務誤り防止に向けて職場会議を実施しました。	
取組結果	各所属より掲げられた業務改善にそれぞれ取り組むとともに改善事例を横展開することで、他所属の良い取り組みを取り入れ、区役所全体の業務の底上げを図りました。 また、リスク管理シートの整備等に取り組み、事務誤りが起こらないための職場会議を実施しました。	
取組全体の達成度	☆☆☆☆	

取組項目	取組 41 さまざまな場面での区民ニーズの把握	継続
取組内容	区民アンケートや区民会議、各種懇談会などさまざまな場面でいただいた区政に対する区民の皆さまのご意見を、区政運営や各事業の取り組みなどに反映させるよう努めます。	企画経理課 総務課 地域力推進課
具体的な目標値	区民アンケートの実施 区民会議の開催 2 回	
目標に対する実績	区民アンケートの実施 区民会議の開催 2 回	
取組結果	・7 月 23 日から 8 月 13 日にかけて区民 1,200 人を対象に区民アンケートを実施し、区役所全課及び区内関係公所で情報共有するとともに、今後の事業を検討するために活用しました。 ・7 月 18 日に地域の代表者の方や各種団体の方など 42 名に出席いただき、区民会議を開催しました。会議は「第 2 期熱田区将来ビジョン」及び「令和 6 年度熱田区区政運営方針」、「令和 7 年度区の特性に応じたまちづくり事業」について、ご意見をいただきました。 ・2 月 4 日に地域の代表者の方や各種団体の方など 42 名に出席いただき、区民会議を開催しました。会議は「令和 6 年度熱田区区民アンケート結果について」及び「令和 7 年度熱田区区政運営方針（案）」について、ご意見をいただきました。 ・「ご要望・ご提案箱」にいただいた意見等を、区政運営に反映させるよう努めました。 ・団体広聴の実施（3 回）	
取組全体の達成度	☆☆☆☆	

取組項目	取組 42 さまざまな情報媒体の活用	継続
取組内容	①広報なごや区版をわかりやすく作成するとともに、時期に合わせた区内の取り組み紹介など、より魅力的な紙面づくりに努めます。 ②SNS を積極的に活用し、区役所からの情報提供を充実します。また、写真や表示方法などを工夫して、わかりやすく関心をもてるような内容にするとともに、区のウェブサイトとも連携して情報を発信します。 ③区役所 1 階に設置してある行政情報モニターを活用して、来庁者の皆さまに区政に関する情報やイベントなどの情報をお知らせします。	地域力推進課 企画経理課
具体的な目標値	区公式 X に投稿したそれぞれの記事のインプレッション（閲覧数）が 570 回以上	
目標に対する実績	投稿数 255 件、平均インプレッション 614 回（達成率 107.7%）、インプレッション合計 156,540 回	
取組結果	①広報なごや区版トップに老人クラブや家具転倒防止ボランティアなど地域で活躍する団体の紹介を行うほか、区版トップバナーをリニューアルするなど魅力アップに努めました。 ②区公式 X で情報提供を積極的に行いました。ハッシュタグを設定するなどより多くの方に見ていただけるよう取り組み、区のウェブサイトとも連携して引き続き細やかな情報発信をし、フォロワー数が大幅に増加しました。（令和 4 年度 141 人増、令和 5 年度 126 人増、令和 6 年度 235 人増 フォロワー数 2,151（3 月末時点）） ③行政情報モニターで、日曜窓口や区役所、警察署、消防署、図書館などからのお知らせやイベント情報などを発信しました。	
取組全体の達成度	☆☆☆☆	